神戸大学医学部附属病院

膠原病リウマチ内科

指導担当医（役職）

上田　洋（助教）

実習概要

実習コース

２週間コース・４週間コースどちらも可（４週間コースを優先）

概要

主に入院患者の膠原病リウマチ診療について学びます。病棟担当医について、主治医団の一員として入院患者を数名（2～5名程度）受け持ちます。実習期間中は連日、主治医団とともに診察を行い、日々生じる問題点（Problem）に対する鑑別と対処法について考察します。毎週木曜日午前のカンファレンス前にはカンファレンス記事を作成し、担当症例についてプレゼンテーションを行っていただきます。

そのほか、希望に応じて外来や関節超音波検査の見学も可能です。

実習スケジュール　2週間コース、4週間コースともに共通

主治医団の医師と相談し、病棟に集合し（集合時間はその都度相談）、連日入院患者を診察する。

木曜日：入院患者カンファレンス（木曜日10時から）

カンファレンス記事の作成、当日は発表を行う。

外来見学：任意

関節超音波検査見学：任意

学生へのメッセージ

膠原病疾患の重症病態では急速に進行する腎障害や肺病変、神経障害、血液異常など、様々な臓器に重篤な障害をきたすことがあります。このような入院患者を日々診療することによって膠原病性疾患を理解するのみならず、それぞれの臓器病変に関連する検査や鑑別診断についても深く学ぶことができ、また、ステロイドをはじめとする免疫抑制治療に伴う有害事象や合併症についての知識も習得できます。日々新たな治療薬の進歩もあり、患者に実践する最新のエビデンスに基づいた治療に触れることができます。

膠原病リウマチ内科外来では関節リウマチをはじめとする関節炎を主とする疾患の診療がメインで、関節超音波検査は関節炎の鑑別や、治療効果判定などに役立つ検査です。希望に応じて見学や超音波実習も可能です。

膠原病リウマチ内科に興味を持っている人、膠原病に限らず内科医として活躍したいと思っている人、膠原病が苦手だから勉強しなおしたい方、どんな方でも歓迎します。是非一度、膠原病主治医団の一員として診療を行ってみませんか。そのほか、実習内容は個人の希望に応じてできる限りフレキシブルに対応しますので、気軽にご相談ください。